広報
さめがわ

昭和61年
10月号
No. 394
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



代替バスが運行開始 道少田、湯の田で出発式

代替バス出発 ― 。村内を走る路線バスのうち、「代替バス」で運行することとなった塙～鮫川線、棚倉～鮫川線の出発式が10月１日道少田と湯の田のバス発着場で行われました。

午前６時30分から行われた塙～鮫川線の出発式には関係者約30人が出席し、まず坂本助役、金沢信夫福島交通棚倉営業所長があいさつを述べたあと、運転手の矢吹幸男さんに鮫川小四年の藤田真弓さんから花束が贈られました。

続いて、坂本助役、金沢所長、芳賀議長がテープカットを行い、午前７時40分始発の塙行きに出席者が記念乗車し、代替バスの運行を祝いました。

10月１日～31日　体力つくり強調月間
10月17日～23日　薬と健康の週間
10月１日～12月31日　共同募金運動

今月の人口
（10月１日現在）

		前月比
人　口	5,480	（＋４）
男	2,709	（＋２）
女	2,771	（＋２）
世帯数	1,130	（＋１）

塙線、棚倉線の代替バス出発式



▲棚倉～鮫川線を運行する代替バス



▲塙～鮫川線の矢吹運転手に花束贈呈



▲棚倉～鮫川線のテープカット



▲代替バスに記念乗車する出席者

おらほのむみ (42)

主要施策の成果と予算執行の実績について

村長　石田卯子八

わが村の昭和六〇年度一般会計及び特別会計は、それぞれ所定の期間に決算を結了し、三日間にわたる監査委員の精密厳正な審査を経て、一〇月六日から開かれた定例村議会で認定をいただきました。

これも、村民皆様の村政に対するご理解とご協力の賜であり、更には村税の全村完納の実績が基盤となっているものと、深く感謝するものであります。

一般会計では、歳入総額二一億六三、一九九、五一五円で予算現額に対する割合は一〇〇・三%であります。歳出総額は、二〇億八〇、六四三、六四〇円、予算に対する割合は九六・五%で、歳入歳出差引残額は、八二、五五五、八七五円であります。このうち昭和六一年度に繰り越した青少年広場整備事業費は四一、五〇二、〇〇〇円、翌年度繰越金は四一、〇五三、八七五円で単年度黒字決算となりました。

昭和六〇年度に実施した主要事業は、まず新農構事業で全村に設置した同報無線施設は、親局一、遠隔制御局二、中継局一、屋外子局二五、戸別受信機五〇〇台、移動無線四台を設置、これに要した事業費は一億五、六四九、八八〇円であります。

当地域では初めてといわれる青少年広場は、夜間照明施設を整備した立派なスポーツ施設で、一億二八、八五五、六〇〇円の事業費となりました。

林業総合整備事業で実施した大型林道大戸中松倉線は工事が完了し、東前田線、下線などを併せた事業費は、一億二八、〇〇八、三一二円であります。

これらの事業は、すべて国県の財政援助をうけて実施したもので、財政が困難の折にもかかわらず、概ね順調に進捗できましたことに対し、深く謝意を表する次第であります。

次に、国民健康保険特別会計の事業勘定、直診勘定、その他特別会計いずれも前年度を上回る実績で、ここに村民各位はじめ、国県ご当局、その他関係者の苦心と努力に深く敬意を表し、当年度の予算執行についても何分のご協力をお願いする次第であります。

英霊二四一柱安らかにしめやかに戦没者追悼式

戦没者追悼式が、九月二〇日山村開発センターで遺族の方々約一五〇人出席のもと、しめやかに行われました。

式終了後、引き続き遺族会主催の慰霊祭が行われ、戦没者二四一柱の英霊をしのび、めい福を祈りました。



踊りや民謡で楽しく
にぎやかに敬老会





村恒例の敬老会が九月一五日午前一〇時から山村開発センターで開かれ、六〇〇人を超える高齢者でにぎわいました。

まず、村長代理の坂本助役があいさつを述べたあと、八〇歳と八八歳になられた高齢者に記念品が贈られました。

続いて来賓祝辞があり、渡瀬小六年の蛭田みゆきさんと鮫川中一年の矢吹由美子さんの作文朗読、石井光男さんの謝辞がありました。

慰安演芸では、ふる里文化芸能クラブの踊りや民謡が披露されたり、マジック、浪曲、レコード歌手相馬ひろしさんの演歌など心ゆくまで楽しみました。

農業振興地域整備計画
17年ぶりに全面見直し

本村では、昭和四四年度に農業振興地域の整備に関する法律に基づく農業振興地域の指定を受け、農業振興地域整備計画を策定しました。

この計画は、農業地域の保全、並びに農業に関する公共投資、その他農業振興のための施策等について定めたもので、これにより各種補助事業の優先採択を受ける等して、農業の健全な発展を図ってきました。

今回、策定後一〇年以上経過したこの計画を、経済事情、その他情勢の変化に対応した実効性のあるものとするため、全面的に見直すことにしました。

この計画の中では、農用地等の利用確保を図るため農用地等として利用すべき土地の区域を定め、その中の農用地等の転用を制限することになります。今回の見直しに当っては、あらかじめ他の用途に利用することが見込まれる農用地等については、農業の振興に支障がない範囲で区域から除外して、土地の有効利用を図っていくことにしております。

農用地区域の設定に際しては、農家の皆様から除外申出書を提出していただくことになります。

また、本村の今後の農業振興のあり方等について意向調査を実施しますので、その際にはご協力くださるようお願いします。

住みよいふる里づくりを
＝ふる里振興協議会が誕生＝

より明るく、より豊かな住みよいふる里づくりを推進するため、このほど「ふる里振興協議会」が結成されました。

この協議会は、鮫川村、鮫川村農業協同組合、鮫川村商工会の三団体で講成され、①ふる里の産業おこし並びに地域活性化等に係る事業の調査研究及び連絡調整 ②関係団体がふる里づくりのために行う事業の相互協力または援助などの事業を行うことになっています。

協議会の委員は、各団体長と職員など一二名で、九月八日第一回目の事業計画の検討が行われました。

まず農業協同組合は、「東京鮫川会」の結成を提唱。商工会は、ふる里おこし研究会や地域問題に対する懇談会を通し、地域の活性化を模索するソフト事業を計画。また村では、基幹産業の農業や畜産業と併せて豊かな自然を生かした観光施設を整備し、活力ある、住みよい村づくりを図る計画をしております。

にぎやかに秋祭り

収穫の秋を迎え、一〇月一日の統一祭礼の日には、村内各地で多彩な行事がにぎやかに繰り広げられました。

渡瀬の北野神社では、本殿覆屋、拝殿が約三〇〇年ぶりに全面改築され、これを記念して渡瀬獅子舞（ささら）が奉納されました。

赤坂中野、渡瀬、西山二区では、青年みこし、子供みこし、保育所の子供みこしなどが地区内をねり歩き、お祭り気分を盛り上げました。

赤坂西野の熊野神社境内では、伝統の青年相撲が行われ、チビッコもまざっての相撲の妙技に、観衆の喚声がひびきわたりました。





立派に改築された北野神社の前で、渡瀬獅子舞（ささら）が奉納されました。

薬のビンはなぜ色がついているのだろう

薬と健康の週間
10月17日～23日



病院や薬局の薬棚に並べられた茶色の薬ビン―。薬のビンには、なぜ色の着いたものが多いのでしょうか。

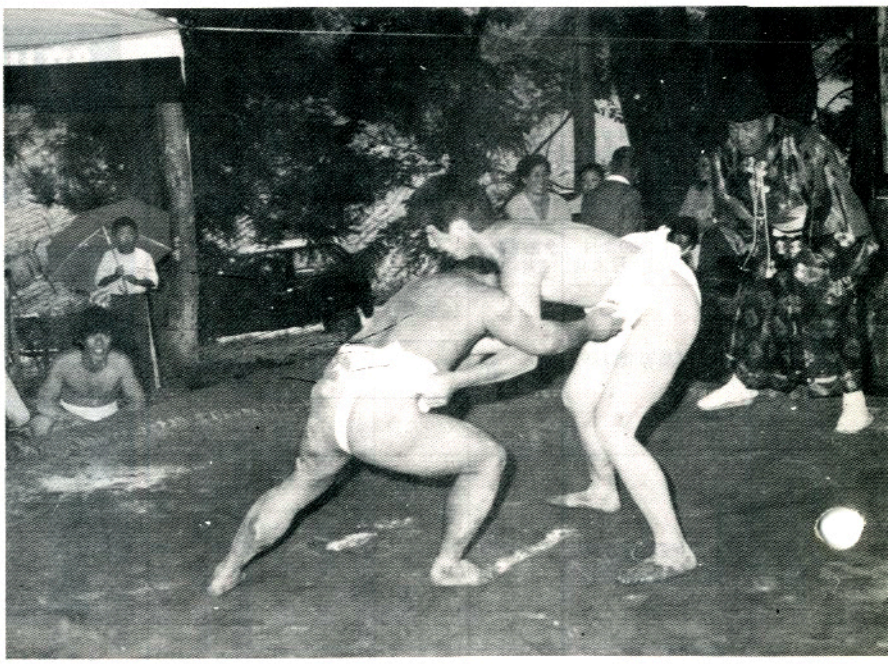
薬は、何種類もの成分が微妙に配合されており、成分の中には光に当たると効きめの落ちるものが少なくありません。薬ビンが茶色なのは、光を庶断し薬の効用を保つ〝保存の工夫〟というわけです。

このように、ビン一つとっても薬には細心の注意が払われていますが、みなさんのご家庭では、薬の取り扱いは万全でしょうか。

薬は、湿気、日光、高温を嫌います。保存のポイントは、①光に当てないで②涼しい所に置くことです。

季節の変わりめに、家庭の常備薬のチェックをし、使用期間の過ぎた薬や古くなった薬は捨てましょう。





赤坂西野熊野神社境内では、青年相撲、チビッコ相撲が行われました。







かわいい子供みこしなどが、にぎやかに地区内をねり歩きました。



県きのこまつり

品評会には本村からも出品



きのこの生産技術を改善し、商品価値を高めてきのこの消費拡大を推進するため「福島県きのこまつり」が開催されます。

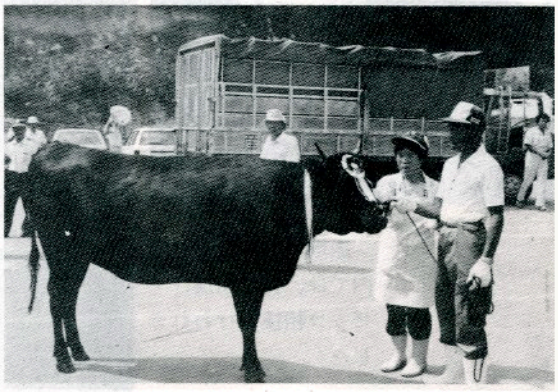
きのこまつりでは、きのこ品評会、きのこ種菌展示、山の幸コーナー、きのこ関連機器展示、きのこ即売などが行われますが、品評会には本村産のきのこも出品されます。

きのこ生産者はもとより、きのこ生産や加工に興味のある方は、ぜひお出かけください。

◇主催　福島県きのこ振興協議会
◇後援　福島県他
◇日時　一〇月二五日(土)から二六日(日)まで
午前一〇時～午後四時まで
(二六日は、午前九時～午後三時三〇分まで)
◇場所　福島県林業試験場
郡山市安積町成田

鮫川牛の名声高める

羽田さん飼育牛が金賞



▲金賞１席に入賞した羽田義美さんの「はなぎく号」

第一三回福島県肉用牛共進会が去る九月四日、五日の両日、県家畜市場（本宮町）で開催されました。

本村からは、体型・資質とも優秀な牛一六頭が出陳され各区上位に入賞しました。

特に第三区（生後二〇カ月～二三カ月未満）では、東野字内ケ竜羽田義美さんの飼育牛「はなぎく号」が金賞一席に入賞し東北農政局長賞を獲得するなど、鮫川牛の名声を高めました。

各区の入賞者は次のとおりです。

第13回福島県肉用牛共進会入賞者

区分	賞	名号	生年月日	飼育者名
第１区（生後14カ月～16カ月未満）	銀賞	よしはな	60．4．9	東野 藤田 進
第２区（生後17カ月～19カ月未満）	銀賞	いちひめ	60．1．24	東野 遠藤 稲穂
第３区（生後20カ月～23カ月未満）	金賞（東北農政局長賞）	はなぎく	59．11．9	東野 羽田 義美
第４区（高等登録群）１群３頭	銀賞	ふみたけ	52．1．16	青生野 森田 一雄
		たけもり	55．12．7	
		もりたけ	57．10．27	
第５区（鮫川村改良組合繁殖雌牛群）１群５頭	銀賞	なつひめ	56．3．20	西山 松崎 安
		かつ子	55．12．30	西山 関根 徳次
		たかひろ	57．8．5	東野 前田 正孝
		きよえ	56．11．11	渡瀬 蛭田 昌一
		たかお	57．5．5	青生野 白坂 幹雄
第６区（東白川地区和牛準育種組合）１群５頭	銅賞	かね２	59．10．24	東野 三瓶一太郎
		なおみ	59．11．15	中野 鈴木 公義
		ともよし	59．5．28	青生野 石井 重春
		ひろし	59．10．2	中野 芳賀 清一
		なおこ	59．6．12	東野 根本亀代次

小規模林地開発には届け出が必要です

危険な開発



一ヘクタール未満の林地を農地、住宅地、道路等として開発する場合には、伐採届を林業事務所（または役場経済課）へ提出し安全等について指導を受けなければなりません。

林地の開発は、豪雨等による土砂の流出や崩壊、その他の災害が生じないよう、また森林のもつさまざまな機能を損なわないよう行う必要があります。特に住宅地周辺、飲料水等に利用している水源周辺の森林の開発は、飲料水の確保や生命、財産を守るという点から慎重に行わなければなりません。

さらに、開発にあたっては、自然環境を損なわないよう適当に森林を残すことも必要です。安全で適切な林地開発をするため、林地開発を行おうとする方は、必ず届け出てください。

なお、一ヘクタールを超える開発は、県知事の許可が必要ですので林業事務所に申請してください。

伐採届とは……

森林所有者等が立木を伐採する場合には、伐採の届出書を県知事に提出して、伐採の計画が県の地域森林計画に適合している旨の通知を受けなければならないことが、森林法に定められています。

23チームで熱戦

村ゲートボール大会



村老人クラブ連合会ゲートボール大会が、9月25日さぎり荘ゲートボール場で開かれました。23チームが出場し、結果は次のとおりでした。

①新宿上②渡瀬A③官代、渡瀬C

シートベルト着けてネ

村内7カ所でテント村



秋の全国交通安全運動中日の9月25日、交通安全テント村が午後4時30分から村内7カ所で行われました。

各テント村には交通安全協会、交通安全母の会、交通指導隊などが参加し、ドライバーに風せんやチラシなどを配り、特にシートベルト着用を呼びかけました。

ウナギの稚魚を放流

鮫川漁業協同組合

鮫川漁業協同組合では、魚族の繁殖を図るため九月二六日に、ウナギの稚魚（体長15～20センチ）九キロを役場前の鮫川に放流しました。

同組合では、これまでヤマメなどを放流していましたが、今年は初めてウナギを放流したものです。



太陽電池時計を寄贈

鮫川ライオンズクラブ

鮫川ライオンズクラブから、クラブの認証状伝達を記念して太陽電池時計（時価百万円）が贈られました。

時計は青少年広場に設置され、利用者から大変喜ばれています。

文芸

俳句

横座矢吹　茂

昼寝より覚めまた老いに戻りけり

宿ノ入　田中　義明

栗花を手折りて残る悔一つ

新宿　斉須　信子

風船の豊富に売られゆく祭り

道少田　山本五十鈴

退勤の主婦ら秋刀魚のとがり買う

大塩　矢吹　呂孝

逝きし娘の笑顔がゆれる秋桜

反田　小山田清哲

汗の顔汗を重ねて草返す

鮫川高校　沢　草二

鯛やお地蔵さんの泣き黒子

道少田　山本　朗史

墓標から墓標へ移す秋真水

上　高坂　蚯切

秋茄子や鬼籍へ届けたき思い

江竜田　芳賀　輔宗

青を増す日和豊作田の広さ

寅卯平　舟木　三郎

掌をひろげ眠るひ孫へ風送る

青生野　土手内芳子

陽につかれ眠りにおちる夏座敷

大塩　水野　風斉

四十雀チチと飛び立つ葉がくれに

宝木　水野　誠

雨がきて色増す草の中に住む

彦次郎　青戸　テル

丹精の健康菜のとうに立つ

短歌

新宿　杉山　忠男

仕舞湯に浸りて居れば戸締りと火の用心のメロデー響く

名下　須藤美代子

秋の日の温み残れる石塀に並ぶあきつに夕闇せまる

広畑　岡部ヒサ子

灰皿を世話になったと洗い伏せ夫さわやかに煙草をやめる

広畑　蛭田のり子

露天風呂につかり見上げる湯けむりは色づき初めし山間を這う

酒垂　石井　カヤ

カラオケにつられて吾も集い行き下手の横好き一夜を唄う

越虫星　武

集い待つ老ら列なし喜々と乗る敬老の朝送迎のバスに

関口　藤田　マサ

手綱取り吾に引かれて代掻きし鹿毛思い出す轡見るたび

折戸　阿久津ミツ

明けの空天気いかにと仰ぎ佇つゲートボールの試合する朝

棚橋　関根　一好

独りテープを巻き戻す。亡妻の声遠し雨降り止まず

遠ケ竜　中川西好幸

花落ちし梢仰げば栗の実の青きが風に揺れて光れり

遠ケ竜　須藤　幸子

太陽の光を吸いし干し草の香り楽しみ納屋に納める

巡ケ作　鈴木　米子

茶臼岳に登るという子を送り出し久々に晴れし空仰ぎ見る

農委だより

農業委員会で水稲作況調査

今年は平年作と予想

村農業委員会では、九月二五日、村内全域にわたり水稲の作況調査を行いました。

今年の稲作は、六月中旬と七月末を除き、生育期全般に低温、寡照に経過したため、幼穂形成始期が遅れ、出穂期は平年に比べやや遅れました。

これにより、草丈の伸びは抑えられたものの、分けつが旺盛だったため、有効茎歩合もやや高まり、穂数は多く確保されたと見込まれています。

一穂当たりのもみ数は、穂数が平年に比べて多かったこと、さらに、六月下旬から七月中旬の低温により減少が心配されましたが、葉色の退色が遅れるなど、稲体の活力が持続したため、もみ数の減少は予想したほどでなく、平年に比べやや少なめにとどまったものと見られます。

登熟は、出穂期から登熟初期の八月中下旬まで、低温、寡照に経過したため、開花、受精はやや悪かったものの、稔実歩合は平年並みとなりました。更に登熟中期以降は高温、多照、適雨に経過したため、登熟の進度は早まり、おおむね平年並みと見込まれています。

なお、地域によってはいもち病の被害や、冷水による青立ちがあり、米の品質が悪くなったり減収する水田もみられました。

今後、品質を低下させないよう適期の刈取りや乾燥調整に注意しましょう。

昭和61年鮫川村水稲品種別作付状況

（単位：アール）

品種 / 年度	トヨニシキ	初星	コシヒカリ	キヨニシキ	ササミノリ	ヨネロ	フヂミノリ	ヤマテニシキ	ハナヒカリ	アキヒカリ
60	20,328	13,863	1,262	763	2,774	5,785	1,510	3,576	642	1,074
61	17,972	18,414	1,182	713	1,800	4,229	867	4,537	1,270	1,126

農業簿記指導員研修会

あなたも参加してみませんか？

農業経営の規模拡大や作物の多様化により、自ら記帳し、収支計算や青色申告、さらには経営分析を行う農業者も増えてきていますが、依然として記帳をしていない農業者も多いようです。

このため、福島県農業簿記普及協会では、自立経営農家で指導員として意欲のある者を対象に、簡易式農業簿記の記帳を中心とした研修会を開催します。

この機会に、希望者はぜひ参加してください。

◇日時　昭和六一年一〇月二三日～二四日

◇場所　郡山市朝日　県農協連郡山会館大ホール

◇参加経費　研修会負担金（一、五〇〇円）テキスト代（一、三〇〇円）

◇申込み　村農業委員会に一〇月二〇日までにお申し込みください。

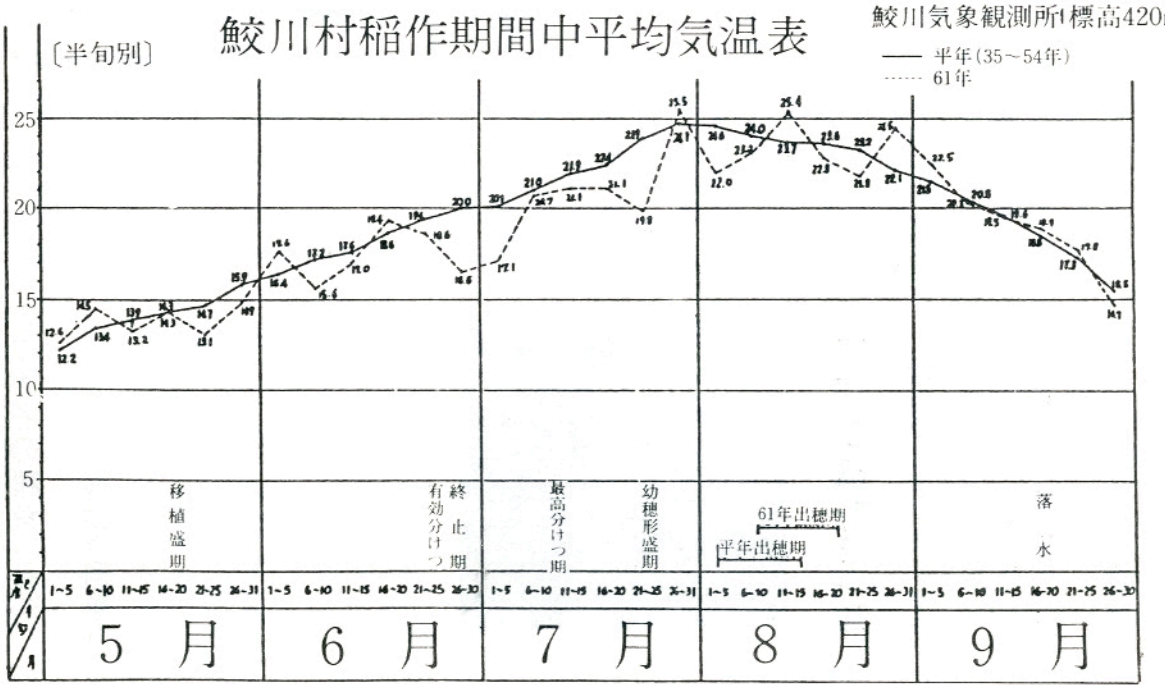
鮫川村稲作期間中平均気温表

〔半旬別〕

鮫川気象観測所(標高420m)

—— 平年(35～54年)

····· 61年



公民館だより

ゲートボールで世代間交流
ふるさと少年教室

ふるさと少年教室第五回講座は、九月二八日（日）午前八時四〇分からさぎり荘のゲートボール場で開かれました。

「今お年寄りの皆さんが大いに楽しんでおられるゲートボールをぜひ参加してためしてみませんか、そして今までよりもっとお年寄りの皆さんと仲良しになりましょう」の呼びかけにこたえて、二一名の受講生が参加しました。

講師にゲートボール愛好者で村内の須藤栄恭さん、矢吹喜一さん、鷲野谷満さん、高原三二さん、高木正美さん、鈴木正利さんをお迎えして、ゲートボールのコートや用具、ルール、技術などを勉強後、参加者で四チームを編成して、試合を行いました。

ステックをにぎったことはあっても、試合は一度もしたことのない子どもたちばかりでしたが、講師の方々から「初めてにしてはルールや技術ののみこみが早く、教えても張り合いがあり、各地区のお年寄りの皆さんとゲートボールによる交流も充分にできますね。これからも頑張ってください」などの評をいただいて午前中に終りました。

午後一時から午後三時までは、トレセンプールで泳ぎ納めを行い、楽しく一日を過ごしました。



▲うまくスパークできるかな



▲優勝チームのメンバー

参加者募集

社会学級第六回講座
史跡・名勝地めぐり

社会学級第六回講座（史跡・名勝地めぐり）を次により実施致しますので、参加希望者は各方部連絡員か運営委員長に早急に申込んでください。

◇期　日　一〇月二八日（火）

◇内　容　県内史跡・名勝地めぐり（午前八時四〇分出発）‖石川町‖須賀川市‖郡山市‖会津若松市（福島県立博物館開館記念展）‖下郷町（大内宿・塔のへつり）‖羽鳥湖‖白河市‖鮫川村（午後五時三〇分）

◇参加費　三、〇〇〇円以内

◇持参品　昼食、その他

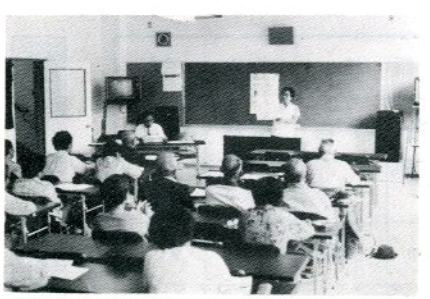
◇日　程　山村開発センター前

日頃の健康管理を学ぶ
社会学級九月講座

社会学級九月講座は、九月一七日が西野教室と西山教室、九月一八日が渡瀬教室と青生野教室、九月一九日が中央教室と富田教室がそれぞれの会場で開催されました。

各教室とも、講師に棚倉保健所保健婦長・金内サクヨ先生をお迎えして、講話「高齢者の健康管理」のお話に学級生一同熱心に聞き入り、質問が多く出されました。

お話の後は映画「ボケない老後」を鑑賞しました。



▲中央教室のみなさん

白河広域消防本部

10月18日に移転します

白河地方広域市町村圏消防本部と白河消防署が次により移転します。

◇移転月日　一〇月一八日(土)

◇移転先　〒961白河市字立石山一五－一（国道二八九号線沿　昭和大橋南側）

◇電話番号　〇二四八－二二－二一五五（代）

なお、白河地方広域市町村圏整備組合事務局および機械運営センターも同じく移転することになります。

税を知る週間

11月11日～17日

一一月一一日から一七日までは「税を知る週間」です。

国や県、市町村は、私たち国民が豊かで安定した暮らしができるように、道路の整備や社会福祉の充実など幅広い活動を行っています。

税金は、このような活動の大切な財源であり、私たちの日常生活においても、いろいろな面でかかわりあっています。

この機会に、あなたも税金の仕組みや使いみちについて考えてみませんか。

おめでた

八　月

茅　白坂　広勝　父白坂政二
彦次郎　星　英利香　父星　英資

おくやみ

九　月　年齢　世帯主

関下　藤田キクノ81歳　藤田義人

心配ごと相談

10月20日(月)
午前10時～午後2時
山村開発センター

休日の在宅当番医

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
10月19日(日)	勝田	石川	木村沢金
26日(日)	菅原		
11月2日(日)	薄葉		
3日(月)	大木	中島	
9日(日)	中央病院	車田	

ゴミの収集日

収集コース	種別	10月	11月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	20.23 27.30	6.10.13.17 20.27
	不燃物	31	14.28
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	21.23 28.30	4.6.11.13.18 20.25.27
	不燃物	31	14.28
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	30	13.27
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	29	12.26
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	—	7
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	31	14.28

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

共同募金

10月1日～12月31日



赤い羽根共同募金運動は、今年で40回を迎えました。

今年も10月1日から12月31日まで、全国で共同募金運動が行われています。

昨年お寄せいただいたみなさまの善意は、福島県共同募金会を通じて、民間社会福祉施設や民間社会福祉団体（社会福祉協議会など）に届けられ、有効に使われています。

今年も、皆さんのあたたかなご協力をお願いします。

心あたたまる寄附

○郡山市安積町二丁目二〇〇番
郡山ヤクルト販売店連合会
鮫川ヤクルト代理店
金沢キクエ様
ボランティア活動によるヤクルト販売代金の一部　五千円
（鮫川村社会福祉協議会）

児童手当支払のお知らせ

10月9日に鮫川農協口座に振込みましたので、お受けとりください。

塙セリ市場だより

(61・9・20)

性別	頭数	取引価格 最高	最低	平均	平均体重	平均月令
	頭	千円	千円	千円	kg	月
雌	122	765	197	316	243	9.6
去勢	134	450	239	349	268	9.1
計	256			333	256	9.4

今月の納税　村県民税(3)　国民健康保険税(5)　国民年金保険料(3)　納期限10月25日(土)